

【こんなご苦労（くろう）があって素敵（すてき）な花（はな）が】



先日（せんじつ）、菜（な）の花（はな）のことを紹介（しょうかい）しましたが、土手（どて）のところには四季（しき）折々（おりおり）素敵（すてき）な花（はな）が咲（さ）いていて、山王台小学校を訪（おとずれ）れる人（ひと）や通行（つうこう）の方（かた）の目（め）を楽（たのし）ませてくれています。

場所（ばしょ）が、土手（どて）になっていて、急斜面（きゅうしゃめん）があったり、フェンスとの狭（せま）い間（あいだ）だったりして、決（けっ）して花壇（かだん）づくりにはよい環境（かんきょう）とは言（い）えませんが、ほっておけば草（くさ）が伸（の）びてしまいます。

いつも手入（てい）れをしてくださっている方（かた）がちょうど花（はな）を見（み）に来（き）てくださっていたので、お話（はなし）を伺（うかが）いました。

草花（くさばな）の種（たね）が地面（ぢめん）に落（お）ちてそのままにしておくと、いろいろな種類（しゅるい）が混（ま）ざったり、開（か）花（か）の時期（じき）もばらばらになってしまったりしてしまうそうです。

そこで、種（たね）をとり、時期（じき）を考えて計画的（けいかくてき）にまいてくださっているということです。また、右上（みぎうえ）の写真（しゃしん）を見（み）ていただければよく分（わ）かりますが、種（たね）を蒔（ま）くまえに、きれいに草（くさ）をとってから植（う）えているそうです。ましてや斜面（しゃめん）での作業（しやめん）もありますので、その大変（たいへん）さが想像（そうぞう）できます。

いつも当（あ）たり前（まえ）のように眺（なが）めていた花（はな）がこのようなご苦労（くろう）に支（ささ）えられていることが分（わ）かりました。